

… 総会特集号 …

# 連盟会報

発行日：2016 (平成28年) 4月29日

…◆第44号◆…(P-1)

発行：NPO法人 日本抜刀道連盟

企画・構成・編集：広報部

…事務局… 〒130-0026

東京都墨田区両国 2-21-5 両国ダイカンプラザ802号

☎:03-3631-5851 FAX:03-3631-5852

## 平成28年度 総会開催

建設的かつ前向き活発な質疑応答…

◆ 全国大会会場 鹿島神武殿：閉館…

十月二十九日(土) 神奈川武道館で開催

◆ 連盟会員を守る『安全確保・管理体制』構築

巡回 安全管理者の新設と安全管理要点

春うらら桜吹雪が去り…、陽春爽やかな快晴の平成二十八年四月十七日(日曜)NPO法人日本抜刀道連盟の定期総会が東京都港区新橋の生涯学習センターで開催された。

今回の総会では、本部道場でもある鹿島神武殿閉館に伴い今年度の全国大会は「神奈川県立武道館」での開催と変更になった。

この会場の変更に伴い、試斬用巻ワラの「搬入・撤去」を初め大会運営時間短縮等々の多技に互る諸条件の対応について、奔走調整する菅野事務局長を中心に、活発な討議がなされた。

また、抜刀道修練中の不慮の事故から《連盟会員》を守る為に日本刀を扱う際の「安全管理体制」構築の具体策が提示され、競技会場での不安全行為の「発見と撲滅」を図るべく、十名の巡回安全管理者を新設すると、中島副会長から報告がなされた。

▼ 出席理事：21支部。委任状：17支部。

… 議事および報告… 議長 会長 大江正男

- ① 平成二十七年 事業報告 事務局長 菅野 茂
- ② 平成二十七年 会計報告 監査 岡本 正
- ③ 監査報告 監査 藤本 敬子
- ④ 平成二十八年 事業報告(案) 事務局長 菅野 茂
- ⑤ 平成二十八年 会計予算(案) 会 計 岡本 正
- ⑥ 第25回「全国大会」について 事務局長 菅野 茂
- ⑦ その他の事務局長から報告事項 副 会 長 中島 正夫
- ⑧ 抜刀道修練に於ける 『安全管理体制構築』と巡回安全管理者の新規導入
- ⑨ その他



永年お世話になった鹿島神武殿の閉館に伴い全国大会会場が変更になった。

大会を成功させる為に各支部の協力を切望すると開会の挨拶する大江 連盟会長

修練中の不慮の事故から会員を守る『安全管理体制構築』構想を力説する 中島 副会長



## 平成二十八年 事業計画の要点 事務局長 菅野 茂

■第二十五回 全国大会開催について。◆要点：左記の通り◆  
最初に鹿島神社武殿の閉館に伴い、本年の全国大会は、十月二十九日(土)「神奈川県立武道館」で開催する事になった。会場の借用については、中世古相談役の協力や、今迄の当館講習会での実績を通じた信頼関係の結果と考えているとの挨拶があった。

◆大会時間配分：制約された時間《九時～十七時》迄に、全てを終了させねばならず大会の成功は、参加者一人一人の協力にかかっている。  
◆開会式(十時)。◆試合開始/形の部(十時二十分)。  
◆昼食(十二時～十二時三十分)。  
◆実技の部・団体戦(十二時三十分～十五時三十分)。  
◆表彰式(十五時三十分)。◆後片付け・清掃・全員退館(十六時～十七時)。

◆仮標の製作の統一(品質)◆  
仮標のばらつきを防ぎ、品質を統一する為《三日浸け》とする。臭い対策の為、水揚げ時に一度水洗いをする事。

◆審判・進行係・仮標の抜き差し◆  
◆競技会場の一コートを二支部に割り当て「仮標の抜き差し」をお願いしたい。審判は、各コート四名。審判主任一名の五名編成とする。  
◆会場は、四コートあるので合計二十名。「呼び出し：進行」は、審判主任の責任で、そのコート全般を仕切って戴きたい。  
◆なお、大会会場の変更に伴い、与えられた時間内で大会を成功裡に導く為に、表彰式の時短縮を考慮した、効率的な「表彰状とメダル」の渡し方等々の質疑応答が活発に行われた。

◆高段者審査会 八月六日(土) 於・神奈川県立武道館小道場。  
◆受審資格六五歳以下。参加資格は左記の通り。  
六段：平成二十四年 五段合格者。大会・講習会二回参加。  
七段：平成二十三年 六段合格者。大会・講習会五回参加。  
八段：平成二十二年 七段合格者。大会・講習会六回参加。

◆各支部での昇段審査について。  
春：三月～五月。秋：八月～九月。この間以下は受付られません。

## 平成 27 年度事業報告

4月	4日(土)	制定刀法講習会 高知支部・讃岐支部 春期合同審査会 (講師・境先生、中村先生、平岡先生)
	12日(日)	制定刀法講習会・審査会 笠間市武道館 笠間洗心館支部(講師・太田先生)
	19日(日)	※総会 於、新橋学習センター
5月	5日(火)	※本部制定刀法伝達講習会・公認審判講習会 神奈川県立武道館剣道場
	10日(日)	制定刀法東北地区講習会・審査会 主管：山形支部(講師・遠藤先生)
6月	17日(日)	第8回台湾支部抜刀道大会
7月	13日(土)	第1回制定刀法講習会 志学館道場 新潟支部(講師・小杉先生、齋藤先生)
	5日(日)	第8回全国抜刀術大会 山形市 遠藤先生
	11日(土)	第2回制定刀法講習会 志学館道場 新潟支部(講師・小杉先生、齋藤先生)
8月	11日(土)	制定刀法講習会 鳥根合同合宿(講師・大江会長、大塚教務部長、境先生、中村先生、平岡先生)
	12日(日)	
9月	30日(日)	※本部五段以下審査会 神奈川県立武道館小道場
	30日(日)	制定刀法講習会・審査会 埼玉支部(講師・田嶋先生)
10月	5日(土)	※本部制定刀法伝達講習会・公認審判講習会 東京武道館第二道場
	5日(土)	制定刀法講習会 高知支部・讃岐支部 秋期合同審査会 (講師・境先生、中村先生、平岡先生)
	6日(日)	制定刀法講習会・審査会 笠間市武道館 笠間洗心館支部(講師・太田先生)
11月	3日(土)	※日本抜刀道連盟高段者審査会 鹿島神社武殿
	4日(日)	※第24回日本抜刀道連盟全国大会 鹿島神社武殿
11月	29日(土)	第3回制定刀法講習会 上越市 新潟支部(講師・齋藤先生)
	7日(土)	笠間稲荷神社奉納演武会 太田先生
	15日(日)	制定刀法講習会・審査会 台湾支部(講師・菅野先生)

## 平成 28 年

1月	3日(日)	山内神社奉納演武会 興武館高知支部
	9日(土)	※本部初稽古講習会 東京武道館第二道場 新年会
3月	27日(日)	※本部五段以下審査会 神奈川県立武道館小道場

上記は申請のあったもののみ記載。※は本部主催のもの。

◆規定された受審期間から外れて対応し、連盟規約に反し事務処理が止まっているところもありますが、整理確認してから免状の送付を行います。昨年からの受審するまでの期間が変わったので各支部長は昇段審査の資格確認を行い事前に、氏名と「現段位の取得年月日」を事務局までお知らせ願いたい。事務局でも確認いたします。

◆全国大会の縮小版としての「東京大会」について。  
七月九日(土) 東京武道館で「東京大会」を開催するが、詳細は左記の通り。  
① プログラム・記念品・メダルなし。但し「表彰状・昼食弁当」は用意する。  
② 参加費は、三〇〇〇円程度で検討中。③ 全国大会に準じて選手は五段以下で全国募集。参加地域の限定なし。  
④ 参加者は五〇名程度。二コートで実施し、午前中に終わる。  
⑤ 午後からは、六段・七段の高段者大会を行い、八段は審判にまわる。

◆マスコミへの対応について。  
◆最近いろいろと問い合わせがあり「マスコミ・ホームページ・イベント」等に出演する場合は、事前に事務局へのご一報をお願いします。  
連盟本部にも年に数回、テレビ局などから問い合わせがありますが、連盟趣旨から外れた内容も多く、そのような内容では披露してほしくないので断ってほしい。また、連盟のイメージを壊すような対応や、ホームページの掲載は止めて戴きたい。場合によっては削除をお願いすることがあります。

## 抜刀道修練『安全管理体制』構築の要点 副会長 中島正夫

冒頭、抜刀道修練中の事故から、連盟会員を守る為の「安全管理体制構築」構想の取り纏めに際しては、諸般の事情により本日欠席されている、参与：金子翼 範士を初め関係各位のご協力に感謝を申し上げるとの挨拶があった。

「稽古・試合・審査・演武」等々に於ける「絶対安全の確保・維持」が「抜刀道存続の生命線」となるとの認識の基に、左記の「安全確保・管理体制」を構築し、真剣を使用する際の、連盟会員の『自傷・他傷』の危険性を排除し、不慮の事故を未然に防ぐための安全管理体制を確立する。

よって連盟方針に基づき、安全管理者「安全管理要点」を、次ぎの様に《原因・状態・予防策・実例》を具体的に分類し取り纏めた研修資料が配布説明された。

### 三者一体 修練『安全管理体制』構築構想

①「巡回安全管理者の新設」  
大会・講習会等では、競技中より競技前の準備時間の「素振り」などで「ヒヤリ」とする事が多々ある。この様な不安全行為に気づき注意しても、当事者から「貴方は誰なの!」と、言われては危険は回避できない。よって、新規にデザインし導入する、安全管理者連盟認定記章(ワッペン)を着用し、各種会場での巡回安全管理を徹底し『不安全行為』の発見と撲滅を図る。なお巡回安全管理者の新設は当面10名を認定する。

安全管理者認定記章  
Designed by 連盟本部広報部長



巡回安全管理  
[不安全行為の発見]  
…事故未然防止…



### 平成28年度事業計画案

4月	3日(日)	制定刀法講習会 審査会 笠間市武道館 笠間洗心館支部、講師、太田先生
	9日(土) 10日(日)	西日本春期講習会 審査会 香川三豊市市民交流センター 境先生、中村先生、平岡先生 橋岡先生
	17日(日)	※総会 於、新編学習センター
5月	4日(水)	※本部制定刀法伝達講習会、公認審判講習会 神奈川県立武道館剣道場
	8日(日)	東北地区講習会、審査会 遠藤道場神山館 山形支部 講師、遠藤先生 熊本先生、井林先生
	8日(日)	ミックスジャパン抜刀道公開演武 新潟市芸術文化会館 新潟支部 小杉先生
6月	22日(日)	第9回台湾支部抜刀道大会
	11日(土)	第1回制定刀法講習会 志学館道場 新潟支部、講師、小杉先生、齋藤先生
7月	3日(日)	第9回全国抜刀術大会 山形本沢小学校 遠藤先生
	9日(土)	※日本抜刀道連盟東京大会 東京武道館第二道場
	日程未定	制定刀法講習会 鳥根合同台宿(講師・境先生、中村先生、平岡先生) 会長出席
8月	6日(土)	※日本抜刀道連盟高段者審査会 神奈川県立武道館小道場
	4日(日)	制定刀法講習会 審査会 笠間市武道館 笠間洗心館支部、講師、太田先生
9月	10日(土)	第2回制定刀法講習会 志学館道場 新潟支部、講師、小杉先生、齋藤先生
	10日(土)	西日本秋期合同講習会 審査会 高知 境先生、中村先生、平岡先生 橋岡先生
	11日(日)	尚武館、武蔵会合同制定刀法講習会 尚武館道場 講師 大塚教務部長
	19日(月)	※本部五段以下審査会 東京武道館第二道場
	25日(日)	※第25回日本抜刀道連盟全国大会 神奈川県立武道館剣道場
10月	29日(土)	笠間稲荷神社奉納演武 太田先生
	12日(土)	笠間稲荷神社奉納演武 太田先生
	24日(木)	第3回制定刀法講習会 上越市、新潟支部 齋藤先生
11月	27日(日)	制定刀法講習会、審査会 台湾支部 講師、菅野先生

### 平成29年

1月	3日(火)	山内神社奉納演武会 興武館高知支部
3月	18日(土)	※本部五段以下審査会 神奈川県立武道館小道場

- 【要点】：概要説明「原因・状態・予防策・実例」
- ① 目釘の点検と事故防止。演武中の事故の実例。② 斬った時の、刀の止める位置の徹底。③ 抜刀・納刀の際の切創(せきそう)と刺創(しきそう)。④ 抜刀の際の悲惨な左手の、切創(せきそう)事故の実例。
  - ⑤ 切創・刺創以外の《内科的疾患》による事故の危険性。
  - ⑥ 「総括」海外を含む事故の実例と死亡例。
  - ⑦ 連盟指導層の心得と認識。(提言と自己啓発)
  - ⑧ ◆緊急情報◆今年二月、舞台稽古：殺陣の稽古中に模擬刀が腹部に刺さり、一時間後に死亡した実例。  
以上の事故実例を通じ、稽古中の安全確保の認識と、連盟会員を事故から守る為の『安全管理体制』構築策の即導入と実行が力説された。

連盟本部主催 五段以下昇段審査会  
合同稽古会開かれる…

日時：平成28年3月27日。於：神奈川県立武道館  
昇段審査 [09:30~] 合同稽古会 [12:30~]

審査長 大塚光男範士八段  
藤田久男錬士七段・岡本光正錬士七段

◆合格者4名  
受審者6名

初段	羽染博道(武蔵会)
初段	杉田英幸(武蔵会)
二段	岩本典之(武蔵会)
三段	城和広貴(尚武館)

⇒刀剣検査を  
通じ稽古中の  
事故から  
会員を守る！



早朝九時受付開始と同時に、八千代支部長 藤原六段により刀剣検査が実施され参加者二十六名の所持刀に異常のないことが確認された。  
審査・合同稽古会の開会では、菅野教士八段から昇段審査・合同稽古会の意義。審判長の大塚八段範士からは審査に於ける諸注意と激励の挨拶で一日がスタートした。



午後から参加者二十六名の合同稽古会に入り大塚範士八段・菅野教士八段・藤田錬士七段が講師となつて、段別に別れての「制定形および試斬の要点と実技」の丁寧な指導が行われ、意義ある一日が終わった。  
[参加者・二十六名]



◆お人柄紹介◆

- ◆ 所属支部 ◆ 埼玉 武蔵会
- ◆ 武道歴 ◆ ※抜刀道 五段  
NPO法人 日本抜刀道連盟
- ◆ 居合道三段 … 全剣連。
- ◆ 出身地 ◆
- ◆ ※ 福岡県大牟田の炭鉱長屋  
(青春の門と似た風景)の中で誕生。



平川 政博(63歳)  
埼玉武蔵会支部長

- ◆ 趣味 ◆
- ◆ ※ 読書 (時代小説・武道関係)
- ◆ 武道修練の目標 ◆
- ◆ ※ 現代生活では会得しがたい正しい剣の理合いでの心身の鍛錬により潜在能力を取り戻し高める事で原始的自我の追求に心掛、また、刀の怖さを忘れず安全に扱う、理合いと鍛錬どちらも疎かにしない天地人の理を知り感謝すること心掛けています。

- ◆ 座右の銘 ◆ “温故知新”
- ◆ 尊敬する人物 ◆
- ◆ 良寛・男谷信友・山岡鉄舟・西郷隆盛。
- ◆ その他 … 人生観 ◆

物質が豊かになり、衣食住も変化してきた。本当に人間的な生活が豊かになったかは疑問も多い。しかし、人間の生存率は高くなり、今の物質文化を否定もできない…。されど、人間の本能は退化しつつあり、人間は進化途中の動物らしい…。

今だからこそ“武道修練”で、人間本来にあるべき機能を呼び覚ます為の「技と精神」を鍛錬し後世へ引き継ぐ事で将来平和な理想文化の構築に役立つことを願う一人です。  
「武道は“愛”であり“和”を尊ぶ」…。 争いを避け謙虚に黙々と修練する我でありたい…。

武蔵会は連盟創立期に発足した支部でありその歴史と足跡は尊い。平川支部長は病床にある前任者の長戸支部長の後を継ぎ現在第三代会長の支部長。本部主催講習会には会員をつれ精力的に参加。会員へは、日常的稽古指導だけでなく面倒見がよく慕われている。インタビューでは、「武道は“愛”であり“和”を尊ぶ」と言うように、静かなお人柄の中にキラリと光るリィダシップが感じとれ魅了される…。

[本部 広報部]

広報

…《編集◆後記》…

本連盟常任理事会精査の『平成28年度事業計画』が総会に於いて発表承認されたが、永年に亘り全国大会会場であり本部道場であった武道界でも歴史ある『鹿島神武殿』が閉館となり、今年の全国大会は神奈川県立武道館での開催となった。

この会場変更に伴い“使用環境・条件・設備”等々が違う中での大会準備と“実施対応”には苦慮しつつも、大会準備委員が“孤軍奮闘”して活躍しているが…、準備役員に頼るだけでなく《大会の成功可否》は、各支部と会員一人一人の協力が不可欠である…。

今こそ、我が連盟が提唱する『棟樑と絆…絆と連帯』の姿勢を実践して、全国大会を皆の手で成功させようではないか…。

▼ 抜刀道存続の“生命線”は『稽古・演武・競技』中の《絶対安全の確保》との認識の基に真剣を使用する際の連盟会員の『自傷・他傷』の危険性を排除し不慮の事故を、未然に防ぐ為に公認“巡回安全管理者”を新設し、ワッペンを胸に“巡回”しますのでご協力をお願いしたい…。



本部 広報部長  
中島 正夫

◆広報 便り

[誰もが気づかない発想] ただ単に活字を“見るのではなく”… 50cmほど離して会報の1枚を眺めてほしい…。写真を挟んで活字を縦横に巧みに組み合わせ、絵画を眺める様な『絵心の発想』で一枚の作品として“構成・編集”がなされています。抜刀道を通じたご自分の人生記録をセロケースに入れて机の片隅に飾るもよし。名刺がわりに“COPY”して記念に配布するもよし。この様な“男のロマン”を勝手に抱き“連盟発展”の為、日々真夜中まで会報作りは続きます…。